



# 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月7日

上場会社名 株式会社 フジトミ

上場取引所 東

コード番号 8740 URL <https://www.fujitomi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細金 英光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 新堀 博

TEL 03-4589-5500

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,417	13.0	220		204		197	
2018年3月期第3四半期	1,254		269		242		308	

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 212百万円 ( %) 2018年3月期第3四半期 244百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	29.84	
2018年3月期第3四半期	46.62	

当社は、2018年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期第3四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

当連結会計年度より「営業外収益」に計上していた「くりっく365振興料」を「営業収益(その他)」に含めて計上することに変更したため、2018年3月期第3四半期の「営業収益」及び「営業利益」については、当該表示方法の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	7,063	2,280	32.3
2018年3月期	7,199	2,513	34.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 2,280百万円 2018年3月期 2,512百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		3.00	3.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

当社は、2019年3月期の的確な連結業績予想を行うことが難しいため、連結業績予想を開示せず、四半期毎に迅速に連結業績速報を開示させていただくこととしております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	6,860,000 株	2018年3月期	6,860,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	235,390 株	2018年3月期	235,390 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	6,624,610 株	2018年3月期3Q	6,624,614 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2019年3月期の的確な連結業績予想を行うことが難しいため、連結業績予想を開示せず、四半期毎に迅速に連結業績速報を開示させていただくこととしております。

(日付の表示方法の変更)

当連結会計年度より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 営業収益の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復が続くことが期待されますが、一方では米中の貿易摩擦など海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

為替市場は、ドル円相場が4月以降は米国金利の上昇から円安に転じ、時折円高に振れる場面があるものの、緩やかな円安傾向となり10月4日には年初以来の安値となる114円台半ばとなりましたが、翌日以降は円高圧力が強まり、12月末には110円を割る展開となりました。証券市場は、日経平均株価が10月2日に一時24,400円台となり、バブル崩壊後の最高値を更新しましたが、翌日以降は米国長期金利の上昇や米中経済摩擦の悪影響から世界的に株価が下落し、12月26日には1年8カ月ぶりに一時19,000円を割るなど軟調な地合いが続いております。なお、東京金融取引所の取引所為替証拠金取引(くりっく365)の取引数量は2,355万枚(前年同四半期比13.6%増)、取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)は398万枚(同35.7%減)となっております。

商品先物市場は、金価格(先限)が4月下旬以降下げ基調となり、8月16日に2016年10月以来の安値となる4,112円まで値を下げ、その後は円安に支援されて上げ基調となり、12月中旬には4,500円台を回復する展開となりました。ドバイ原油(先限)は、米国による対イラン制裁により全体としては上げ基調となり、10月上旬には58,000円台となりましたが、その後はサウジアラビアやロシアなどの増産で供給過剰見通しが強まり、また、株価急落で投資家マインドが悪化したことなどから12月下旬には32,000円台まで値を下げました。なお、オプション取引を含む国内商品取引所の総出来高は1,659万枚(前年同四半期比9.9%減)、主な市場別出来高は貴金属市場が1,066万枚(同9.7%減)、石油市場が426万枚(同8.5%減)、農産物・砂糖市場が29万枚(同40.6%減)となっております。

このような環境の中、「投資サービス事業」につきましては、投資セミナーの開催やラジオ番組の提供及び取次ぎ受託契約獲得の推進などによる商品先物取引、取引所為替証拠金取引(くりっく365)、取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)の受託業務の収益基盤の強化を図り、「生活・環境事業」につきましては、保険業では、多様化する顧客ニーズに的確かつ迅速に対応するために、総合代理店のメリットを生かし、あらゆるリスクに対応したコンサルティングスキル・プランニングスキルの向上に努め、お客様から選ばれる保険代理店を目指し、また、連結子会社のふくろう少額短期保険(株)の経営立て直し及び少額短期保険商品販売促進に努め、不動産業では、安定収益確保を目的とした賃貸物件を保有しながら、中小不動産業者との協業強化や競売物件入札などの新しい仕入れルート開拓などにより、優良な短期転売案件の新規発掘に注力しました。

当社グループは「お客様本位の業務運営」の実現に努め、投資サービス事業と生活・環境事業の二本柱の体制で多様な質の高いサービスの提供を行い、顧客拡大を志向して中長期的に安定した収益基盤の確立を目指しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益1,417百万円(前年同四半期比13.0%増)、営業総利益1,150百万円(同19.4%増)、営業費用1,370百万円(同11.2%増)、営業損失220百万円(前年同四半期は営業損失269百万円)、経常損失204百万円(前年同四半期は経常損失242百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は197百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失308百万円)となりました。

(注) 当第3四半期累計期間の営業収益の内訳は8頁の補足情報に記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の減少187百万円、販売用不動産の増加221百万円、保有有価証券の減少136百万円、差入保証金の増加83百万円、委託者先物取引差金の増加73百万円、有形固定資産の減少125百万円などにより、前連結会計年度末に比べ135百万円減少し、7,063百万円となりました。

負債合計は、預り証拠金(代用有価証券を含む)の減少217百万円、受入保証金の増加269百万円などにより、前連結会計年度末に比べ96百万円増加し、4,783百万円となりました。

また、純資産合計は、利益剰余金の減少217百万円、その他有価証券評価差額金の減少15百万円などにより、前連結会計年度末に比べ232百万円減少し、2,280百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は32.3%(前連結会計年度末は34.9%)、1株当たり純資産額は344.23円(同379.34円)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、当社グループの主要な事業である商品先物取引業及び金融商品取引業の業績が市場動向等に大きく左右されることや、不動産の賃貸及び不動産の販売についても確度の高い業績予想を行うことが難しいことなどにより、的確な業績予想を行うことが困難なため、業績予想を開示せず、四半期毎に迅速に業績速報を開示させていただくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,008,732	820,801
委託者未収金	44,185	101,386
売掛金	2,690	3,952
有価証券	26,931	45,395
商品	3,890	49
原材料及び貯蔵品	1,299	-
販売用不動産	167,017	388,455
仕掛販売用不動産	78,595	-
保管有価証券	388,178	251,572
差入保証金	3,409,087	3,492,292
委託者先物取引差金	541,578	615,171
預託金	35,000	45,000
その他	94,265	90,759
貸倒引当金	△806	△9,857
流動資産合計	5,800,644	5,844,979
固定資産		
有形固定資産	533,192	407,532
無形固定資産	91,897	82,779
投資その他の資産		
投資有価証券	257,520	214,558
関係会社株式	32,937	37,367
破産更生債権等	138,410	126,515
長期差入保証金	388,903	389,281
その他	87,098	88,756
貸倒引当金	△131,113	△128,127
投資その他の資産合計	773,755	728,352
固定資産合計	1,398,845	1,218,664
資産合計	7,199,490	7,063,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,674	2
未払金	83,389	113,396
保険契約準備金	4,741	4,741
未払法人税等	8,934	8,221
預り証拠金	2,026,025	1,944,977
預り証拠金代用有価証券	388,178	251,572
受入保証金	1,821,682	2,090,981
その他	85,826	86,589
流動負債合計	4,421,452	4,500,481
固定負債		
退職給付に係る負債	184,778	202,518
その他	51,174	51,109
固定負債合計	235,952	253,627
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	28,513	28,513
金融商品取引責任準備金	506	595
特別法上の準備金合計	29,020	29,109
負債合計	4,686,424	4,783,218
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,200,000	1,200,000
資本剰余金	312,896	312,896
利益剰余金	1,101,600	884,049
自己株式	△39,556	△39,556
株主資本合計	2,574,940	2,357,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△61,980	△77,012
その他の包括利益累計額合計	△61,980	△77,012
非支配株主持分	104	48
純資産合計	2,513,065	2,280,424
負債純資産合計	7,199,490	7,063,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業収益</b>		
受取手数料	955,921	1,159,516
売買損益	△55,434	△85,758
売上高	297,403	223,553
賃貸料収入	32,128	35,095
保険料等収入	20,348	66,736
その他	4,483	18,695
営業収益合計	1,254,851	1,417,838
売上原価	291,622	267,807
営業総利益	963,228	1,150,031
<b>営業費用</b>		
取引所関係費	35,141	74,326
人件費	801,152	844,164
減価償却費	21,876	27,667
貸倒引当金繰入額	-	6,505
その他	374,422	417,891
営業費用合計	1,232,593	1,370,556
営業損失(△)	△269,364	△220,525
<b>営業外収益</b>		
受取利息	4,513	4,208
受取配当金	4,790	3,770
貸倒引当金戻入額	10,018	-
持分法による投資利益	4,875	5,210
その他	3,626	3,383
営業外収益合計	27,824	16,571
<b>営業外費用</b>		
賃貸料原価	680	899
その他	-	72
営業外費用合計	680	972
経常損失(△)	△242,220	△204,925
<b>特別利益</b>		
負ののれん発生益	16,989	-
固定資産売却益	-	6,999
投資有価証券売却益	5,020	4,882
貸倒引当金戻入額	-	441
特別利益合計	22,010	12,323
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	48,363	-
固定資産除却損	124	412
投資有価証券売却損	6,048	-
金融商品取引責任準備金繰入額	-	89
電算機費	29,520	-
特別損失合計	84,056	501
税金等調整前四半期純損失(△)	△304,266	△193,103
法人税、住民税及び事業税	4,613	4,630
法人税等合計	4,613	4,630
四半期純損失(△)	△308,880	△197,734
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△64	△56
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△308,816	△197,677

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純損失(△)	△308,880	△197,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,751	△15,032
その他の包括利益合計	64,751	△15,032
四半期包括利益	△244,129	△212,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△244,064	△212,710
非支配株主に係る四半期包括利益	△64	△56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 営業収益の状況

① 投資サービス事業

イ. 受取手数料

(単位:千円)

区 分		前年同四半期(連結) (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期(連結) (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	前年通期(連結) (自2017年4月1日 至2018年3月31日)
商品先物取引	農産物・砂糖市場	17,872	10,073	22,473
	貴金属市場	524,535	513,327	714,985
	ゴム市場	11,655	5,658	14,050
	石油市場	32,918	23,980	42,599
	商品先物取引計	586,982	553,040	794,108
金融商品取引	取引所為替証拠金取引	16,133	161,852	67,907
	取引所株価指数証拠金取引	237,668	312,402	308,987
	金融商品取引計	253,801	474,254	376,894
合 計		840,784	1,027,294	1,171,003

ロ. 売買損益

区 分		前年同四半期(連結)	当第3四半期(連結)	前年通期(連結)
商品先物取引	農産物・砂糖市場	3,772	—	3,778
	貴金属市場	8,858	△31,452	13,030
	ゴム市場	5,671	2,521	3,862
	石油市場	△73,736	△56,827	△73,736
	商品先物取引計	△55,434	△85,758	△53,065
合 計		△55,434	△85,758	△53,065

ハ. その他

区 分	前年同四半期(連結)	当第3四半期(連結)	前年通期(連結)
くりっく365振興料等	1,735 ※	17,425	3,559 ※

<投資サービス事業合計>

区 分	前年同四半期(連結)	当第3四半期(連結)	前年通期(連結)
営業収益	787,085 ※	958,962	1,121,497 ※

※ くりっく365振興料は、従来「営業外収益」に計上しておりましたが、当連結会計年度より「営業収益(その他)」に含めて計上することに変更したため、前年同四半期(連結)及び前年通期(連結)については、当該表示方法の変更を反映した遡及修正後の数値に基づき算定しております。

## ② 生活・環境事業

## イ. 受取手数料

(単位:千円)

区 分	前年同四半期 (連結)	当第3四半期 (連結)	前年通期 (連結)
生命保険・損害保険の募集	115,137	132,221	173,113

## ロ. 売上高

区 分	前年同四半期 (連結)	当第3四半期 (連結)	前年通期 (連結)
不動産販売	281,089	216,854	369,447
映像コンテンツ配信 ※	9,468	—	9,468
LED照明等	6,845	6,698	9,996
合 計	297,403	223,553	388,911

※ 映像コンテンツ配信は2017年7月に事業を廃止しております。

## ハ. その他

区 分	前年同四半期 (連結)	当第3四半期 (連結)	前年通期 (連結)
不動産賃貸料収入	32,128	35,095	43,029
保険料等収入	20,348	66,736	44,462
その他収益	2,748	1,269	16,028
合 計	55,225	103,101	103,520

## &lt;生活・環境事業合計&gt;

区 分	前年同四半期 (連結)	当第3四半期 (連結)	前年通期 (連結)
営業収益	467,766	458,876	665,545